

<イベントについて>

- *講堂で行うイベントは、基本的に定員200名(先着順)です。
- ***要申込**の表記がないイベントは申込不要です。
- ***有料**(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
- ***要申込**のイベントは、原則として開催日一ヶ月前の開催日(休館の場合は翌開催日)9:30より電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。
- *「みんな」は、博物館の活動を応援してくださる皆さんと一緒に、協力してつくりあげる「みんなで作るイベント」を指します。

企画展「ふくしまの酒造り—酒を醸し和を醸す—」関連イベント

- ワークショップ「酒林(杉玉)をつくろう」** **要申込** 定員5名(定員に達したため受付終了)
10/27(日)13:30~15:00 なんだべや 渡部裕高さん(会津酒造専務)
※新酒のできた目印として酒蔵に飾られる「酒林(さかばやし。しるしの杉玉)」。実際に作って学びます。
- 上映会「一獣の系譜」**
11/4(月・祝)10:00~13:30~ ※2回上映 講堂
※令和6年能登半島地震復興支援チャリティー上映会として、能登社氏のドキュメンタリー映画「一獣の系譜」(石井かほり監督 2015年 103分)を上映します。
- 学芸員によるギャラリートーク** **有料** 企画展観覧料または年間パスポート
10/1(火)15:00~、10/12(土)13:30~、10/13(日)・14(月・祝)11:00~13:30~、10/19(土)・11/3(日)・9日(土)・30日(土)・12/1(日)各日11:00~ [11/9は手話通訳付きの特別解説会]
企画展示室 当館学芸員

キッズ・ファミリー向けイベント

- 博物館でもよみかかせ**
10/12(土)・11/9(土)10:30~11:30 なんだべや
※エプロンシアター、紙芝居、ペープサート。いろいろな「おはなし」が博物館のモノや人と出会います!
「わくわく」「どきどき」「にこにこ」「ほかほか」な時間をお楽しみください。
- 会津短大生とあそぼう**
11/24(日)10:00~12:00 なんだべや
会津大学短期大学部幼児教育・福祉学科 あそびサークルの皆さん
※短大のお兄さん、お姉さんが遊んでくれるよ。博物館に触れるきっかけにどうぞ!

見たい!知りたいたい!楽しみたい! 多彩なイベント

- 美術講座** 美術放談4「美味しい美術」
10/19(土)13:30~15:00 講堂 小林めぐみ、塚本麻衣子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)
※美味しいものは神や仏に捧げるものであり、共にすることで人と人の結びつきを強めるものでもありました。美術史において美味しいものはどのように表現されてきたのでしょうか。
- 自然史講座** 野外講座「恐竜をさがそう」 **要申込** 定員10名(定員に達したため受付終了)
有料 50円(傷害保険料および資料代)
10/20(日)8:30~17:00 いわき市(当館に集合・バス移動) 猪瀬弘瑛・吉田純輝・土屋祐貴(当館学芸員)
※めざせ!〇〇サウルス
- 博物館講座** 会津の三十三観音を知る
10/26(土)13:30~15:00 講堂 高橋充(当館副館長)、塚本麻衣子、大里正樹(当館学芸員)
※同日に開催される日本遺産フェスティバルにあわせ、日本遺産「会津の三十三観音めぐり」について様々な角度からご紹介する講座です。ぜひご参加ください。
- 博物館講座** 親子で探検!博物館のウラ側 **要申込** 定員15名(小学生を含む親子)
11/10(日)13:30~14:30 実習室集合
※博物館のウラ側(バックヤード)をご案内します!
- 考古学講座** 会津大塚山古墳を歩こう **要申込** 定員20名 **有料** 50円
11/23(土・祝)10:00~15:00 会津大塚山古墳 平澤慎(当館学芸員)
※会津若松市街地に残る「会津大塚山古墳」の見どころを学芸員の案内で散策しながら学びます。小雨決行。荒天や積雪した場合は中止します。
- 美術講座** 美術放談5「共創の美術」
11/30(土)13:30~15:00 講堂 小林めぐみ、塚本麻衣子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)
※多くの人の思いを一つの形にした美術。志を同じくする人たちが創り出した美術のムーブメント。歴史の中の共創の美術を知ることには創ることに繋がるかもしれません。
- 民俗講座** 薫に親しむワークショップ~楽しく学ぼうらら細工 **要申込** 定員15名
12/1(日)13:30~15:00 なんだべや 山口拓・大里正樹・西尾祥子(当館学芸員)
※初心者でも大丈夫!お正月前を前に、簡単なめ飾りやらら細工を作りましょう。

休館のお知らせ 当館は12/2(月)~3/31(月)にかけて、施設改修工事のため休館いたします。なお、上記の休館中であっても土・日・祝日・年末年始(12/28~1/4)以外はお問い合わせいただけます。

【常設展総合展示室の閉室について】
常設展総合展示室(旧石器時代から現代までの福島県の歴史をご紹介します通史展示室)は、設備の一部不具合により観覧を中止しています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど宜しくお願いいたします。なお、総合展示室の観覧中止期間にご購入いただいたチケットの半券は、再開後再度ご利用いただけます。再開日は令和7年4月を目指しておりますが、時期が確定しましたら当館のホームページ等でお知らせいたします。

■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円) 文化の日11/3は、すべての方の常設展観覧料が無料です。
■秋の企画展「ふくしまの酒造り—酒を醸し和を醸す—」 夏・秋とも一般・大学生1,000円(800円)、()内は20名以上の団体料金。*高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。
■年間パスポート 2,000円 購入日から1年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。
■三施設共通券(当館常設展・鶴ヶ城・茶室麒麟) 一般・大学生630円

福島県立博物館
Fukushima Museum

開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986
〒965-0807 会津若松市城東町1-25
HP <https://general-museum.fcs.ed.jp> E-mail general-museum@fcs.ed.jp



- JR会津若松駅から約3km
・タクシーで約10分
・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
- 車椅子利用者用駐車場
・博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台
・一般駐車場内博物館入り口側:3台
※ご不明な点はお問い合わせください。

三の丸からプロジェクト

体験型プログラム 秋にじっくり! 会津・ものづくり文化体験
会津では、豊かな素材を用いた生活用品や工芸品が多数生み出され、親しまれてきました。「からむし」「会津塗」「会津本郷焼」「会津木綿」「またたび」など会津の豊かな素材や技法に触れ、会津のものづくり文化に親しんでみませんか。爽りの秋、会津で育てられてきたものづくりの魅力に触れる機会をご用意いたしました。

◀講師滞在・実演型プログラム▶
またたび細工職人の技を見てみませんか?
10/25(金)10:30~15:00(12:00~13:00休止)いつでもご覧いただけます。
なんだべや 菅家豊さん(またたび細工職人)

◀体験型プログラム▶
申込受付中! 電話もしくは受付カウンターでお申し込みください。
プログラムの詳細は、チラシもしくは当館ホームページをご覧ください。

奥会津の恵みでつくるタベストーリー
要申込 定員8名 **有料** 4,000円
10/6(日)10:30~15:00(休憩12:00~13:00)
なんだべや 齊藤加津代さん(畑からそだてた布)

またたび細工~六ツ目ザルをつくろう~
要申込 定員10名(定員に達したため受付終了) **有料** 4,000円
10/26(土)10:00~15:00(休憩12:00~13:00)
なんだべや 菅家豊さん(またたび細工職人)

錫粉蒔絵に挑戦!~ミニトレーまたは壺の絵付け体験~
要申込 定員16名 **有料** 4,500円
11/2(土)13:30~15:30 なんだべや 八木由紀子さん・佐藤淳さん(蒔絵師)

会津木綿でじんわりほかほか小豆カイロをつくろう
要申込 定員10名 **有料** 2,000円
11/10(日)10:00~12:00 なんだべや 田崎薫さん(株式会社はらっぱ)

会津本郷焼の器をつくろう
要申込 定員15名 **有料** 2,500円
11/24(日)13:30~15:30 実習室 宗像利訓さん(宗像窯9代目)

◀体験型プログラム 見て触れて会津の武家文化に親しむ▶
以下の武家文化体験は、電話もしくは受付カウンターにてお申し込みください。

見て触れて、能を体験してみよう
要申込 定員15名
11/3(日)13:30~15:30 なんだべや 会津能楽会の皆さん

松平家の茶道を見る、飲む、楽しむ
要申込 定員20名 **有料** 1,000円
11/17(日)①11:00~ ②13:00~ ③14:00~
なんだべや 茶道石州流宗家会津支部の皆さん

- 【10~12月のポイント展】
*ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。
- 恐竜を発掘するには ~10/23
※どんな道具があれば恐竜を掘り出せるだろう?
 - 友の会化石鉱物探検隊ミニ成果展 ~11/24
※きれいな石がいっぱい!
 - 会津木綿の世界 10/8~11/10
※布から振り返る会津の暮らしをご紹介します

Curator diary

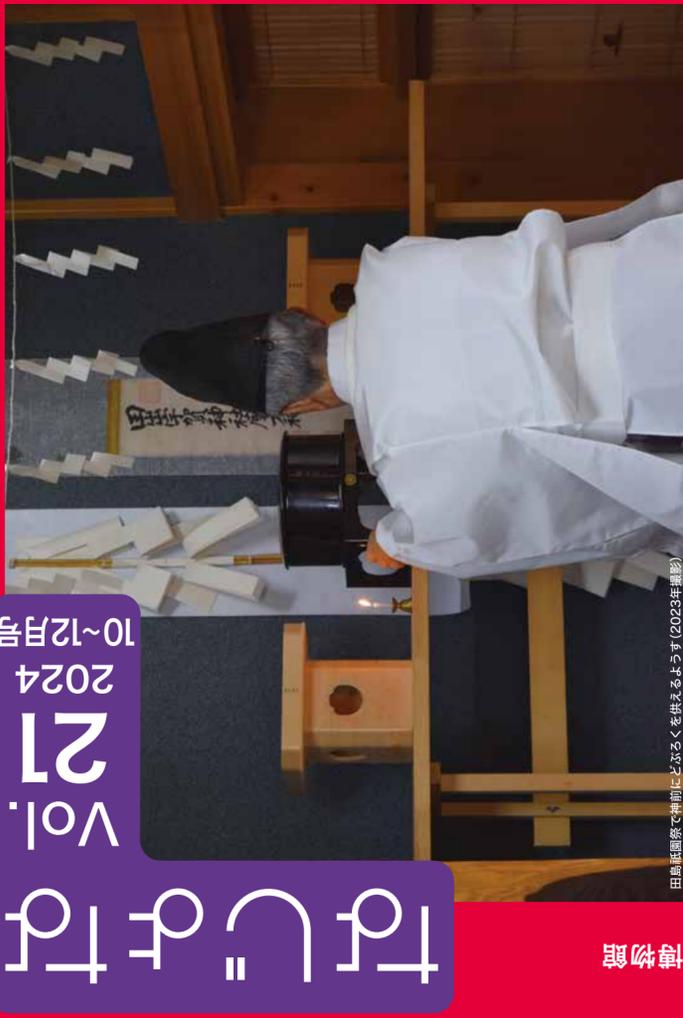
かぐわいん日記

Vol. 21 2024 10~12月号



福島県立博物館

なじよな Vol. 21 2024 10~12月号



Vol. 21 2024 10~12月号

福島県立博物館

Vol. 21 2024 10~12月号

秋の企画展



ふくしまの酒造り -酒を醸し和を醸す-

会期：9月21日(土)～12月1日(日)

展示場所：企画展示室
観覧料：一般・大学生 1,000円(20名様以上の団体800円)、高校生以下無料
*企画展料金で常設展もご覧いただけます。
年間パスポート/2,000円(購入日より1年間、当館主催の企画展・常設展を何回でもご覧頂けます)



福島県は日本有数の酒どころ。そんな福島県の「酒」をテーマにした展覧会について大里正樹学芸員(民俗分野)に聞きました。

●最後にPRしたいことがあればお願いします
博物館資料とは少し性格の違いがありますが、県と会津若松の酒造組合、各酒造会社の皆様のご協力をいただき、30個以上の飾り樽などをエントランスホールに展示しています。福島県内でもなかなか一堂に会した状態で見ることができないので、まさに壮観の一言です。みなさんもお好きな酒造や銘柄のものがあるか探してみてください。展覧会で酒の歴史や文化を知っていただくと、その味わいも少し変わるかもしれませんよ。



『松尾大明神』御札(真福寺蔵)



松尾大明神像(真福寺蔵)



●大里さんの「推し」の資料をあえて一つあげるとしたらなんでしょう
個人的には、お寺に伝わる「松尾大明神」の神像がとても好きです。
松尾神社と言えば、酒造りの神様。西会津町の、その名も「松尾」集落に、松尾神社と真福寺が隣接してあり、近世期から2つの寺社が酒造業や醸造業の人々の信仰を集めてきました。
越後杜氏が、会津若松などへの往復の途次に参拝したと伝わっています。現在も「松尾神社」として単独の宗教法人となっているのは、福島県ではこゝ社だけです(境内社など、小規模な「松尾神社」は会津若松市・いわき市など各地にもあります)。
そこで発行された御札の版木が今回の調査で発見され、最初は判読しにくく状態でしたが、木が摩耗したのではなく、実は墨と埃が詰まっていただけだったのです。入念にクリーニング作業をした結果、鮮明な版面としてよみがえりました。

●「酒」の展覧会を考えたきっかけを教えてください
以前、今後の企画展のアイデア出しを学芸員みんなで行ったことがあったのです。その中で「酒」という企画展案をアイデアとして最初に出したのは、実は自然分野のベテラン学芸員の方でした。当時のアイデアのメモを見ると「ふくしまの酒の歴史・民俗・文化・現状について紹介」とあります。その方は職場の飲み会ではいつもとても楽しくお酒を飲んでいる方でしたから、自分が直接担当するわけでもなく、展示としては楽しいものになると感じていたんでしょうね。



田島祇園祭おとや組のどぶろく仕込み作業(2023年)

●「酒」の中で、「大里さんらしさ」はどこに表れていますか
「酒」というテーマ自体は割と他館でもやられているものなので、酒の企画展をするうえで、福島県立博物館としての切り口をどうするか、ということについては考えていました。
その切り口の「一つ」として取り上げたのが、「どぶろく祭り」です。これは神社が神様へ供える御神酒としてどぶろくを醸す行事です。実は、これはある新聞記者さんからの問合せをきっかけに調べ始めたんです。すると、数の上では、福島県の「どぶろく祭り」が日本一多い、ということが分かりました。
東北の他県には、そもそも酒造免許を持つ神社自体がないのに、でも、民俗分野の私としては「これだ!」と思いましたね。

企画展とあわせてお楽しみください

開催

三の丸からプロジェクト
会津・酒蔵めぐり
—酒蔵スタンプラリー—
10/1(火)～12/1(日)



協力団体
会津若松酒造協同組合
会津若松商工会議所

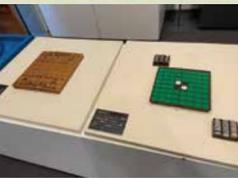
会津の酒蔵の雰囲気を感じ、会津の酒を味わってみませんか?
9年連続金賞受賞数1位という福島県の日本酒。会津地域でも会津藩の時代から特産品にする試みが行われ、酒の品質向上を目指して各酒蔵で研鑽を重ねその努力が実を結び「酒どころ・会津」の基礎が築かれました。そんな歴史ある酒蔵に足を運べばお酒の味も一味違ったものになるかも…。
会津地域の17か所の酒蔵でスタンプラリーを実施しています。
酒蔵をめぐり髷文字スタンプを集めると、会津の酒蔵銘柄 髷文字缶バッジをプレゼントします。今回だけの博物館限定オリジナル缶バッジです。
2か所のスタンプで2つ、5か所のスタンプで5つ、7か所のスタンプで7つのお好きな酒蔵銘柄の缶バッジをプレゼント。10か所のスタンプを集めると会津地域の28酒蔵の缶バッジセットコンプリートとなります。
企画展とあわせて酒蔵めぐり、ぜひ会津の酒文化に触れてみてください。
スタンプラリー実施会場・酒蔵
花春酒造・名倉山酒造・栄川酒造・鶴乃江酒造・末廣酒造 嘉永蔵・磐梯酒造・稲川酒造店・会津錦・小原酒造・喜多の華酒造場・栄川酒造・笹正宗酒造・ほまれ酒造・峰の雪酒造場・大和川酒造店・曙酒造・豊園酒造・福島県立博物館(缶バッジお渡し場所は博物館のみ)→詳しくは福島県立博物館のHPをご覧ください。

さわれる、けんぱく開催中!

福島県の歴史や文化・自然について、見て触れて、楽しく知っていただきたい! そんな思いを込めて、様々な触ることのできる資料を展示する「さわれる・けんぱく」。4月からいるな分野の資料を展示してまいりました。9月は縄文土器、視覚に障がいを持つ方の便利グッズや遊び・学びの道具、災害時に役立つグッズ、刀の鐔が展示されました。10月以降は企画展と連動した孤樽展示にあわせて、ワラに関する資料が登場する予定です。お楽しみに!



縄文土器



視覚障がい者用の将棋セット、オセロセット



視覚に障がいがある方の便利グッズ



災害時に役立つグッズ



刀の鐔

博物館のお仕事 燻蒸

みなさんは「燻蒸」という言葉を聞いたことはありますか?
燻蒸とは、ガス状の薬剤を使って害虫やカビをやっつける処理のことで、農作物や建築物などに用いられますが、当館でも毎年この燻蒸のお仕事が行われています。当館には、寄贈・寄託・購入・採集などで様々な種類の資料が、多い年では1000件以上も新たにやってきます。資料によっては、ずっと屋外に置いてあったり、じめじめした場所に保管されていたりすることもあります。こうした資料に対して燻蒸処理を行うことで、害虫やカビが館内に入ってくるのを防ぎます。

燻蒸剤は害虫やカビに効くだけでなく、毒性がとても強いので、燻蒸処理は専門の業者さんに依頼して行います。燻蒸処理の方法はいくつかありますが、当館ではトラックで燻蒸を行っています。トラックの荷台を燻蒸室に仕立て、一時収蔵庫に仮保管してあった資料を積み込んで燻蒸剤を入れます。1週間ほど燻蒸処理は完了し、資料は館内の収蔵庫におさめます。

燻蒸は、たくさんの資料の殺虫・殺菌処理を一度に行えるとても便利で心強い方法ですが、今年に入り燻蒸に関する衝撃ニュースが発表されました。そもそも文化財は、とても古いものや繊細な素材でできているものが多いので、(公財)文化財虫菌害研究所というところが文化財に使用しても安全ですと認定している燻蒸剤が3種類ありますが、そのうち最も広く使われてきた燻蒸剤が販売中止になるといいます。残りの2種類のうち、1つは殺虫のみで殺菌はできず、もう1つは殺虫・殺菌ができるものの取り扱える会社が全国にくわくつかないという状況で、当館だけでなく日本全体の博物館や美術館など、文化財を扱う施設が困っています。

当館では燻蒸に頼るだけでなく、害虫やカビに対する予防策もとっています。「文化財IPM(Integrated Pest Management 総合的有害生物管理)」というちょっと難しくそうな言葉ですが、具体的には、資料にとってちょうど良い温度や湿度を保って記録をとっておくこと、整理整頓や掃除を定期的に行うこと、年に2回館内全体の環境を調査することなどです。こうすることで、害虫やカビが資料に寄りつきにくい環境を整えています。燻蒸剤がさらに使いづらくなってしまってもいい将来に向けて、この文化財IPMという考え方はますます重要になってきています。

どんな職場・職業にも、人目にふれる仕事とそうでない仕事があります。それは博物館も同じこと。そんな博物館の知られざる(?)お仕事を紹介します。今回は「燻蒸」について、原惠理子学芸員にお話を聞いてみます。



燻蒸する資料の積み込み



害虫やカビのテストサンプルを設置し、燻蒸後、確実に殺虫・殺菌ができたか確かめます。

10月12日(土)12:00～20:00
10月13日(日)9:30～17:00

【会津おいしいもの】
会津のおいしいものと幸せが満載!



【ものづくり販売】
手仕事の魅力とぬくもりを暮らしの中にごどうぞ。



【ものづくり体験】
「ほんもの」に触れて、作って、あなただけの宝物に。



会津には豊かなものづくり文化、水と土と人の手が育んだ食文化があります。それらを見て触れて、体験して、味わうのが「雪国ものづくりマルシェ」。今秋も開催です! 食欲の秋、ものづくりの秋をお楽しみください。
三の丸からプロジェクト
雪国ものづくりマルシェ 2024秋

